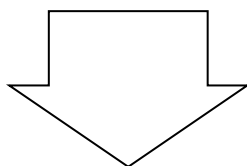


令和5年度 文京区立柳町小学校 授業改善推進プラン 1年

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章を正しく読み、内容の大体を捉えること。 経験したことや想像したことから書くことを見付け、自分が伝えたいことを表現すること。 行動したことや経験したことに基づいて、事柄の順序を考えて話すこと。 話の内容を考えながら聞くこと。 平仮名や片仮名を、正しく読んだり書いたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や家庭学習で、繰り返し音読をしたり、題名や挿絵などを手掛かりにした指導をしたりすることで、内容の大体を捉えられるようにする。 学習計画を立てて見通しをもたせたり、書き方の手本を示したりすることで、相手を意識して伝えたいことを表現しようという意欲付けを行う。 ペアや少人数グループで対話することで、伝えたい事柄やその順序を明確にする。 相手の言いたいことは何かを考えながら聞くようにする。 日常的に書く機会を設け、書くことに慣れるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 具体物を用いて、数の感覚を豊かにすること。 加法及び、減法の意味を理解し、用いることができること。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体物やおはじきなどの半具体物を用いて考えさせることで、個数や順番を正しく数えたり表したりする。 具体物・半具体物の操作、図・式で表現という手順を踏むことで「あわせて」「みんな」「のこり」「ちがいがい」等の言葉の意味を実感させ、加法や減法の計算方法を身に付ける。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身近な人々、社会、自然との関わりに気付き、自ら働きかけていこうとすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校探検や植物の栽培、動物とのふれあいなど具体的な活動や体験などを通して、学ぶ機会を設ける。 活動を通して気付いたことや楽しかったことを、言葉や絵、動作など多様な方法で表現し考えることができるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しむことができるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け、体力を養うこと。 誰とでも仲よく活動し、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てること。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しんで活動しやすいように児童の実態にあった場の設定をする。 動きをイメージしやすいような言葉やルールを取り入れる。またリズムに乗って体を動かすことで楽しさを感じられるようにする。 友達のよい動きを見付ける機会を増やすために、交流の場を設け、児童同士が声をかけ合って活動できるようよい動きや声かけの例を示す。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちを想像し、表現すること。 これまでの自分を振り返ったり、今後の自分の在り方について考えたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 中心となる発問を設定し、登場人物の気持ちになって考えることができるようにする。 ワークシートなどを活用して、じっくり考える時間を確保する。 意見がもてない時は、友達の発言から「同じ」や「似ている」、「違っている」など自分の考えを表現できるようにしていく。

音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わうことができるようにすること。また、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養うこと。 ・音楽表現に必要な技能を身に付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽の出合いを大切にし、音楽を形づくっている要素を聴き取り、言葉や体の動きなどで表現したり比較したりしながら音楽経験を積み重ねていく。その際、友達と共有したり共感したりできるようにする。 ・くり返し音楽を聴いたり体を動かしたりしながら、楽曲に親しみ音楽を聴く楽しさを味わえるようにする。 ・歌詞や曲の感じからどのように表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするのか、常に問いかけ、一人一人が思いをもてるようにする。低学年では特に「拍感」が育つように体を動かす活動を取り入れる。 ・友達と関わりながら声や身の回りの音などを通し、音遊びに親しめるようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく表したり見たりする活動に取り組み、作り出す喜びを味わうこと。 ・造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、材料や用具を用いたり、手や体全体の感覚や技能などを働かせたりして、表現すること。 ・身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲が持続できるような内容を設定する。 ・技能面に関しては、図や実演などで示す。また、個別に指導する必要がある場面を見落とさないように、常に全体を見ながら気を付けて指導する。 ・自分の作品のよさに気付かせ、自信をもたせる。また、友達の作品のよい点などを見付ける交流の場を設ける。



成果○ と 課題▼	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○繰り返し音読をしたり、題名や写真・挿絵などを手掛かりにしたりすることで、内容の大体を捉えることができた。また、叙述に注目させることで登場人物の気持ちを考え、吹き出しに表現したり音読に生かしたりすることができた。 ○相手意識・目的意識の感じられる学習計画を立て、必要に応じて教師が手本を示すことで、児童は自分の経験したことや想像したことから、伝えたいことを表現することができた。 ○ノートにメモをしたり、練習時間を確保したりすることで、事柄の順序を考えて話すことができた。 ▼伝えたいことを詳しく書く力については、個人差が大きい。ヒントとなる文や語句を示して支援したり、共通の楽しい体験を題材に選んだりすることで、意欲的に書く活動に取り組みさせる。また、交流活動を充実させ、友達や自分の文章のよさに気付かせる。助詞や句読点を正しく使うことは、個別に指導する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○具体物やブロックなどの半具体物を用いて考えさせることで、個数や順番を正しく数えたり表したりすることができるようになった。また、10のかたまりや5とび、2とびなど、数え方を自分なりに工夫して数えることができるようになった。 ○具体物・半具体物の操作、図、式で表現という手順を踏むことで「あわせて」「みんな」「のこり」「ちがひ」等の言葉の意味を実感し、加法や減法の計算方法が身に付いた。 ○グループや全体で考えを共有したり、説明し合ったりする活動を通して、新たな考えを取り入れたり、自分の考えを深めたりすることができた。 ▼図や式を用いて、自分の考えをノート書き表すことはできているものの、算数の用語を用いて説明することに関しては半数ができていなかった。「10のかたまり」や「ばら」などの用語と、図や式との繋がりを繰り返し確認・指導していくことが必要である。

生活	<p>○四季の移り変わりや、植物の様子の違いについて、柳の森を活用することができた。また、東京大学の 本郷キャンパスに行き、秋探しをしたり、拾ってきたどんぐりや松ぼっくりでおもちゃ作りを楽しむこ とができた。</p> <p>○あさがおとチューリップを育てることができた。あさがおの観察を積極的に行うことができた。</p> <p>○「冬とあそぼう」は、活動が限定されたため、昔遊びや「じぶんでできるよ」の取り組みを多く取り入 れた。</p>
体育	<p>○動きをイメージしやすい言葉やルールを取り入れることで、体を動かし、楽しさを感じるできて いた。</p> <p>○友達のよい動きを見付ける機会を増やすために、交流の場を設け、児童同士が声をかけ合って活動でき た。</p> <p>▼ルール工夫や遊びの場を考えると、複雑に考えすぎてしまう場面が見られた。「みんなが楽しく遊 べる工夫やルール」といった視点を児童に与え、簡単な遊びやルールが考えられるようにする。</p>
道徳	<p>○価値項目のかたよりがないように上手く散らばせてその時期にあった単元を学習することができた。ワ ークシートを活用し1年間振り返ることができるようにファイルに綴じたことがよかった。</p> <p>○ワークシートに、自分の考えや登場人物の気持ちを書く活動した際に、「友達の真似をしてもいいよ」「い いなと思った考えは書いていいよ」と声をかけることで、苦手な児童が書けるようになった。</p> <p>▼ワークシートに自分の考えや登場人物の気持ちを書く活動で、苦手な児童が書けるようになったものの、 書くまでの時間や内容、学習に対する意欲などで児童の差が出てしまった。国語と関連付けて語彙力を 高めたり、挿絵の様子を全体で確認したりしていく。</p>
音楽	<p>○曲の特徴を捉え、1年生なりに音楽の見方・考え方を働かせることができるように音楽の用語を用いな がら授業を進めるようにした。表現では、中・高学年につながることを考え、基本的な技能を身に付け るとともに、楽器に親しみ、自由な発想で音を見付けたり、楽器の音に興味をもったり、友達と共有し たりする場を多く設けたりした。児童は音や音楽と楽しく生き生きとかかわる態度が育っている。</p> <p>▼一人一人の音楽の見方や考え方をさらに働かせ、表現したり、音楽を聴いたりする活動を充実させたい。 また、音楽を形づくっている要素とその働きを1年生なりに感じ、言葉で表すことができるようにする こと、音楽表現に対する思いを低学年なりにもって、表現したり音楽を聴いたりできるようにする。</p>
図工	<p>○制作の手順を示すことで、見通しをもち取り組むことができた。また、技能面においては、実演を示す ことで、手先の巧緻性が身に付いてきた。個別指導をすることで、安全に活動できた。</p> <p>○自分の作品のよさに気付かせ、自信をもたせる声掛けをすることで、次の活動に意欲的に取り組むこと ができた。</p> <p>○友達の作品のよい点を見付ける交流の場を設けることで、自分では考えつかなかった材料の使い方や表 現などに気付くことができた。</p> <p>▼「ぞうけいのひきだし」を参考に、用具や材料の使い方についてさまざまな方法を提示することで、表 現を広げることができるようにする。</p>